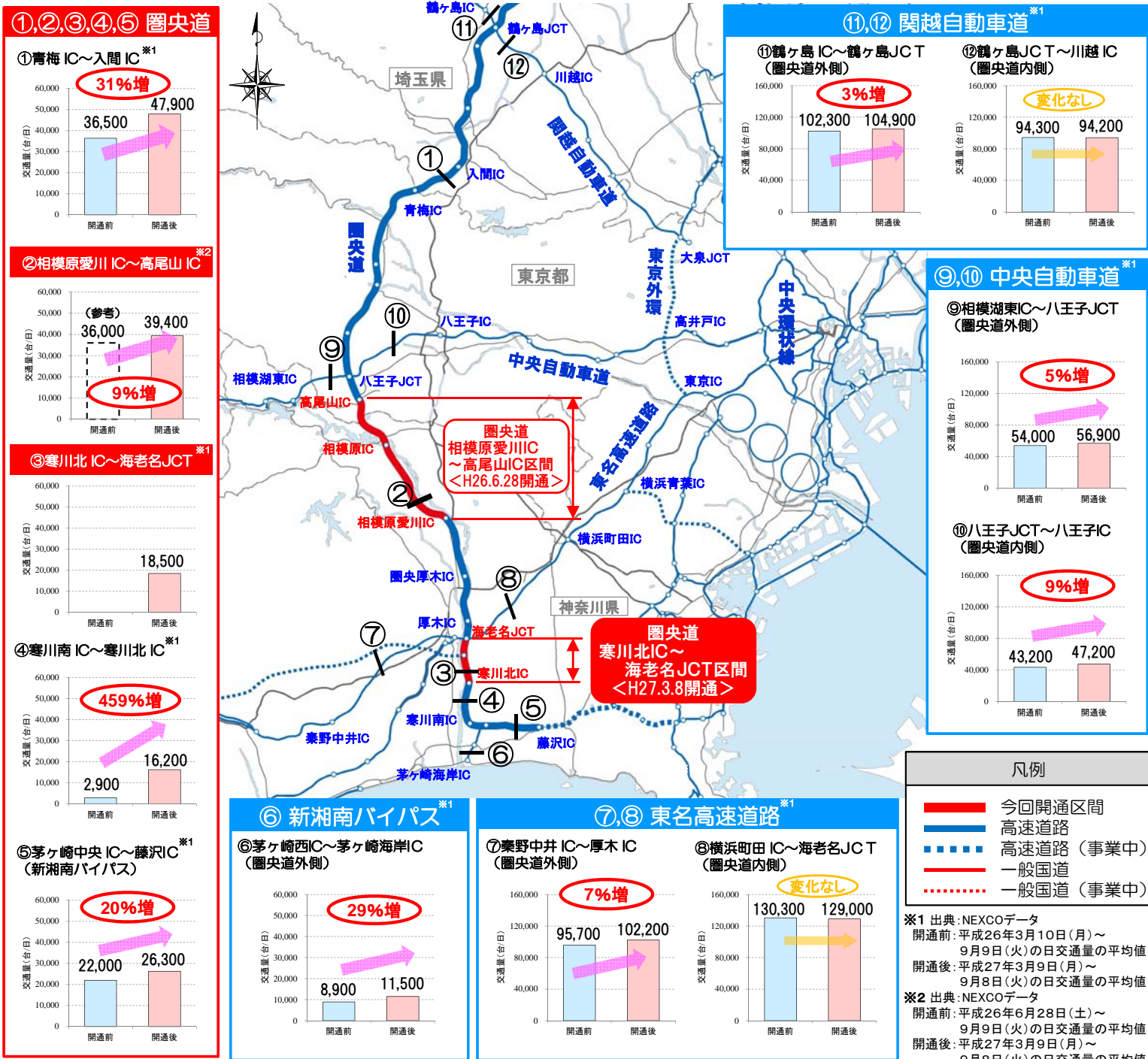


さがみ縦貫道路全線開通後の交通状況(高速道路)

- さがみ縦貫道路全線開通後の日交通量は、相模原愛川IC～高尾山IC間:平均39,400台
寒川北IC～海老名JCT間 :平均18,500台
- 開通していた隣接区間及び新湘南バイパスの交通量は対前年同時期比較で、大幅に増加。
圏央道(寒川南IC～寒川北IC間) :2,900台→16,200台[459%増]
(茅ヶ崎中央IC～藤沢IC間) :22,000台→26,300台[20%増]
新湘南バイパス(茅ヶ崎西IC～茅ヶ崎海岸IC間) :8,900台→11,500台[29%増]
- 放射方向の高速道路では、圏央道外側の各路線の交通量は対前年同時期比較で増加。
圏央道内側では、中央道の交通量は増加したものの、関越道と東名高速では大きな変化なし。
関越道(鶴ヶ島IC～鶴ヶ島JCT間) :102,300台→104,900台[3%増]
(鶴ヶ島JCT～川越IC間) :94,300台→94,200台[変化なし]
中央道(相模湖東IC～八王子JCT間) :54,000台→56,900台[5%増]
(八王子JCT～八王子IC間) :43,200台→47,200台[9%増]
東名高速(秦野中井IC～厚木IC間) :95,700台→102,200台[7%増]
(横浜町田IC～海老名JCT間) :130,300台→129,000台[変化なし]



さがみ縦貫道路全線開通後の交通状況(一般道路)

・開通区間に並行する国道129号の戸田、県道相模原茅ヶ崎線の東河内で交通量が減少しており、開通区間への転換が図られている。

国道129号 戸田：44,300台→35,400台[20%減]

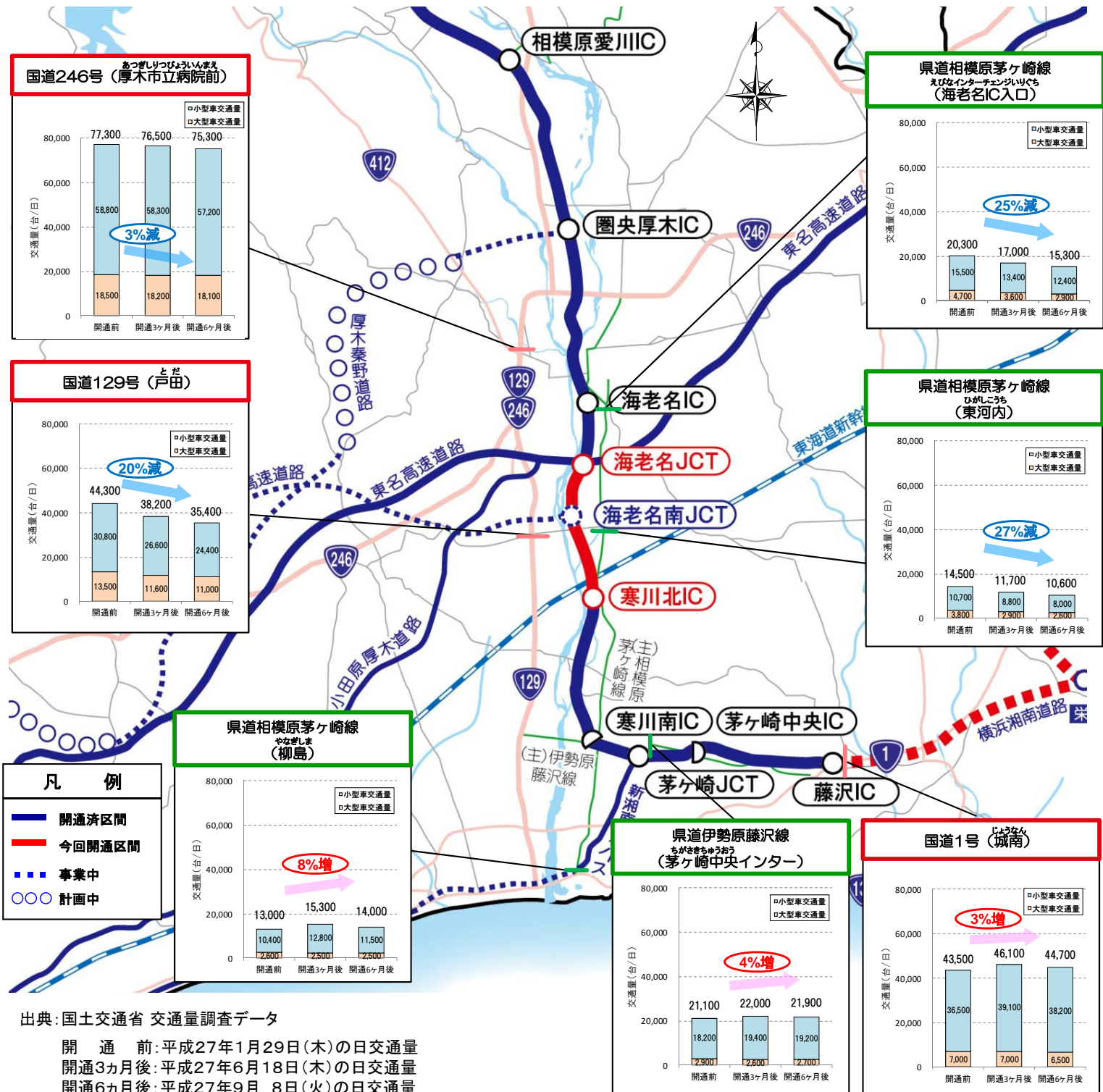
県道相模原茅ヶ崎線 東河内：14,500台→10,600台[27%減]

・国道1号の城南および県道相模原茅ヶ崎線の柳島では交通量がやや増加。

国道1号 城南：43,500台→44,700台[3%増]

県道相模原茅ヶ崎線 柳島：13,000台→14,000台[8%増]

■ 圏央道(寒川北IC～海老名JCT)の開通6ヶ月後の交通状況の変化



出典: 国土交通省 交通量調査データ

開通前: 平成27年1月29日(木)の日交通量
 開通3ヵ月後: 平成27年6月18日(木)の日交通量
 開通6ヵ月後: 平成27年9月8日(火)の日交通量

※四捨五入により、合計値と小型車交通量・大型車交通量の値が合わない場合がある。